

高知市立学校の教職員の皆さんへ

高知市教育長

児童生徒の命を守り抜くために

(高知市教育長メッセージ)

教職員の皆さんにおかれましては、日頃から、本市の児童生徒のため、それぞれの立場や役割の中で、様々な課題に向き合いながら日々の教育実践に尽力いただき、感謝を申し上げます。

令和7年3月31日、私は、高知市立長浜小学校児童プール事故検証委員会から「高知市立長浜小学校児童プール事故検証報告書」を受け取り、児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるように様々な施策を講じ、本市の教育活動でこうした事故が二度と起こらないようにすることを固く決意いたしました。

私は、報告書の内容を深く受け止める中で、高知市教育委員会と高知市立学校が今、組織としてのマネジメントや連携性はどうだったか、どのように情報共有してきたか、組織内又は組織間で伝えるべきことは遠慮なく伝えてきたか、児童生徒の命を預かる立場としての意識や組織の在り方を強く問われていると感じております。そして、本市教育行政の責任者として、高知市教育委員会による児童生徒の命を守り抜くための周知や指導、支援がこれまで十分なものではなかったことを、強く感じております。

高知市教育委員会と高知市立学校のすべての職員は、今回の事故の発生が取り返しのつかないものであり、教育活動において児童生徒の命と安全を守るために最大限の努力をすることが何よりも重要な使命であることを深く胸に刻み、児童生徒の命と安全・安心を第一とした取組を進めていかなければなりません。

この度、高知市教育委員会と高知市立学校のすべての職員が、教育活動において児童生徒の命を守り抜くために、平生から徹底すべき6箇条を次のとおり整理しました。

- 1 全ての教育活動において、子供の命を守るための「安全管理に敏感になる」こと**
⇒ アンテナを高く維持し続けるため、「知識や技能」を得る研修や研鑽が必要
- 2 自身の判断を過信せず、「児童生徒や同僚の声に耳を傾け、思いや提案を受け入れる」こと**
⇒ アンケート等、声を聞くための体制やシステムの構築が必要
- 3 安全管理上のリスクに気が付いた場合、「すぐに教職員間で情報共有を図る」こと**
⇒ 気軽に意見やアイデア等を共有できる雰囲気や、「児童生徒の命を守り抜く」という根本理念のもと信頼して方策を言い合える関係づくりが必要
- 4 情報共有された内容を管理職に報告・連絡・相談し「想定される危険性への対応策を構築する」こと**
⇒ 「児童生徒の命を守り抜く」という根本理念をもとにしたブレない検討が必要
- 5 対応策が構築されない場合や、『児童生徒の命を守り抜く』という根本理念から外れた意見が押し通されそうになった場合は、実施しないを選択する」こと**
⇒ 実施しないという選択が困難な場合、その他の教職員や時には教育委員会への相談も必要
- 6 一人では安全管理に限界があるため、「全ての教職員がそれぞれの役割に応じて補完し合う」こと**
⇒ 組織として動くために校内掲示板等を活用し、重要な情報をタイムリーに伝え合うことが必要

高知市教育委員会といたしましては、すべての職員がこの6箇条を徹底するとともに、学校との連携をより密に図りながら、児童生徒の命と安全・安心を第一に、あらゆる施策を進めてまいります。

教職員の皆さんにおきましても、教育活動において児童生徒の命を守り抜くために、この6箇条を徹底くださるようお願いいたします。